

令和3年10月21日(木)
国土交通省 関東地方整備局 河川部

記者発表資料

令和元年度「河川水辺の国勢調査結果」の公開について

「河川水辺の国勢調査」は、河川環境の整備と保全を適切に推進するため、定期的、継続的、統一的に河川に関する基礎情報の収集整備を図ることを目的として、平成2年度より実施しており、これまで蓄積された情報は、河川管理に有効活用されているほか、大学等における研究の基礎データとして利用される等、様々な分野でも活用されています。

このたび、令和元年度に実施した「河川水辺の国勢調査」の結果について、水情報国土データ管理センターホームページにて公開されましたので、お知らせします。

なお、「河川水辺の国勢調査」の結果は毎年更新されており、翌年度以降についても、毎年10月頃を目処に更新する予定です。

◆水情報国土データ管理センターホームページ <https://www5.river.go.jp/>

→ 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査) → 提供データの一覧とダウンロード

発表記者クラブ		
○竹芝記者クラブ	○神奈川建設記者会	○埼玉県政記者クラブ
○茨城県政記者クラブ	○栃木県政記者クラブ	○刀水クラブ・テレビ記者会
○千葉県政記者会	○都庁記者クラブ	○神奈川県政記者クラブ
○山梨県政記者クラブ	○静岡県政記者会	

問い合わせ先		
国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課	電話:048-601-3151(代表)	
課長 <small>はざわ としゆき</small> 羽澤 敏行 (内線3651)	課長補佐 <small>しいな のりゆき</small> 椎名 紀幸 (内線3656)	

令和元年度 河川水辺の国勢調査結果の概要

◆関東地方整備局管内の調査実施状況

関東地方の一級河川8水系15河川で調査を実施しました。

調査項目	調査河川名
魚類	久慈川、利根川、常陸利根川、中川・綾瀬川、江戸川、渡良瀬川、鬼怒川、小貝川、烏川・神流川、鶴見川、富士川
底生動物	荒川
植物	那珂川
鳥類	相模川
陸上昆虫類等	多摩川

現地調査において確認された魚類は148種、底生動物は338種、植物は863種、鳥類は77種、陸上昆虫類等は2,342種でした。

調査項目	確認された種数
魚類	148種
底生動物	338種
植物	863種
鳥類	77種
陸上昆虫類等	2,342種

※河川毎に確認された種数や種名等、より詳細なデータは、水情報国土データ管理センターホームページに公開されている一覧データ(Excel)により確認することができます。

※水情報国土データ管理センターの河川環境データベースは、国土交通省関東地方整備局ホームページの「河川・水辺の国勢調査」のページに掲載しているリンク先からも入ることができます。

◆国土交通省関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/>

- 河川 → 河川環境 → 河川・水辺の国勢調査
- 水情報国土データ管理センター 河川環境データベース[外部サイト]

国土交通省関東地方整備局
 採用案内 社会資本整備 防

ホーム 河川 道路 港・空港 都市・公園 建設産業 営繕 用地 DX・i-Con

ホーム > 河川

河川 河川部

あなたと見つめる関東の川づくり

最新のお知らせ(2021年09月15日更新)

- 2021年09月15日 河川 第2回関東地方整備局メディア連携協議会 会議資料の掲載
- 2021年08月23日 河川 令和3年度河川協力団体を募集します ～パートナーシップの拡充にもむけた取組み～
- 2021年06月09日 その他 游良・游水水地でアウトリのヒナが2年連続の巣立ち

最新記者発表資料(2021年10月18日更新)

- 2021年10月18日 京浜河川事務所 その他 令和3年度(一社)神奈川県建設業協会と意見交換会を開催 ～公共工事の課題の改善を目指して～
- 2021年10月15日 荒川下流河川事務所 河川 コロナ禍での分散避難の検討をはじめます 荒川下流分散避難検討ワーキンググループの開催
- 2021年10月15日 常陸河川国道事務所 河川 令和3年度 常陸河川国道事務所工事安全協議会を開催します
- 2021年10月15日 荒川下流河川事務所

お知らせ一覧 申請・届出 社会資本整備 防災 地域づくり 河川環境 流域治水プロジェクト 水防災意識社会再構築プロジェクト 技術情報 お知らせ サイトマップ

河川 あなたと見つめる関東の川づくり

河川環境

河川の水質(関東地方の一級河川)

関東地方整備局では、関東地方の一級河川における水質調査を昭和33年より継続して実施しています。こちらでは主な調査結果についてお知らせいたします。

河川・水辺の国勢調査

河川の環境という観点からとらえた基礎情報の収集整備を実施します。水辺の生物に関心のある方に調査結果を提供いたします。

河川水難事故防止!! ライフジャケットは「川のシート」(川財団HP)

河川環境

河川・水辺の国勢調査

河川の環境という観点からとらえた基礎情報の収集整備を実施します。水辺の生物に関心のある方に調査結果を提供できるようにいたします。

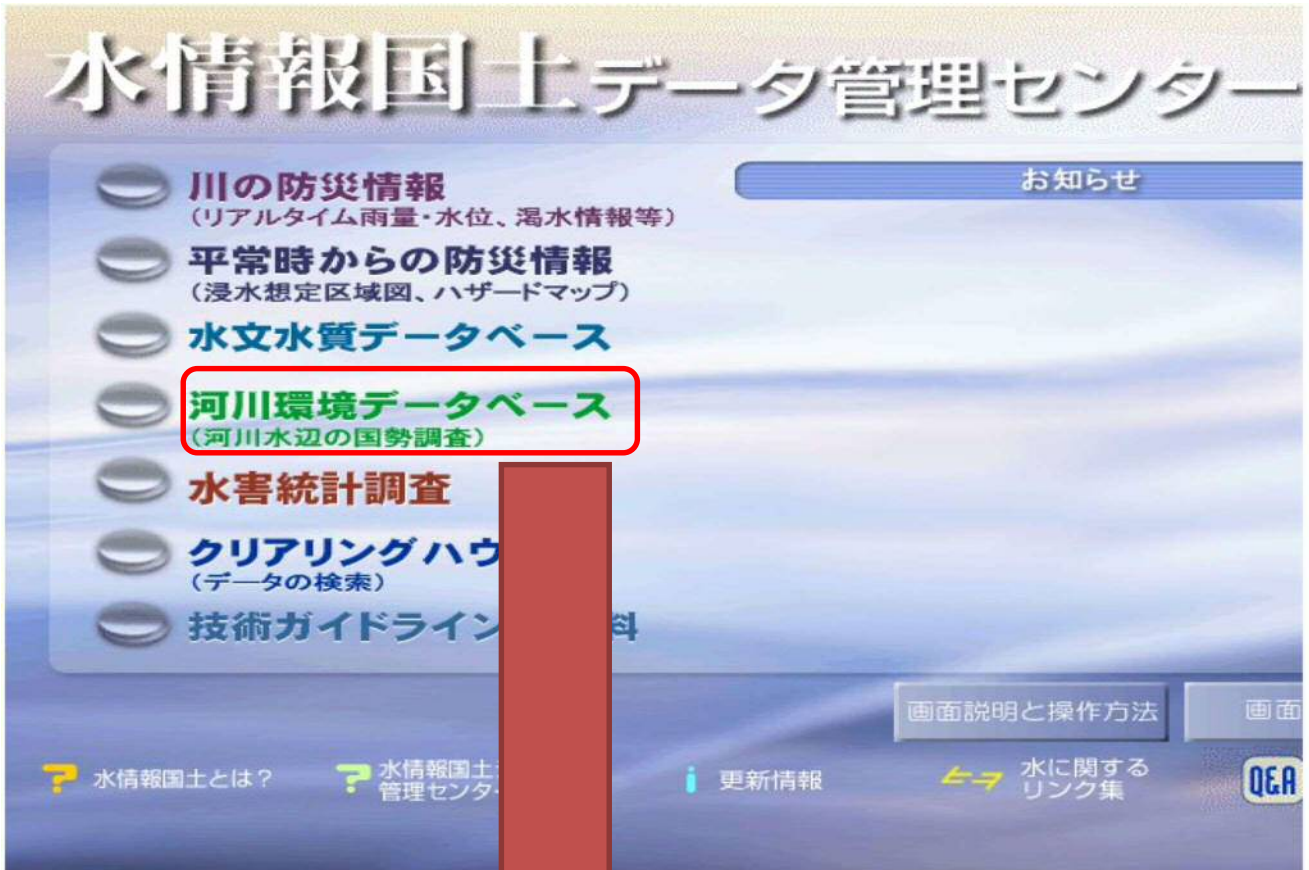


河川には、たくさんの鳥や魚、昆虫、動物が棲み、草花や、樹木が生息しております。また、河川は、私たちの憩いの空間としても、河川における自然環境の保全や、人の憩いの場として河川空間を維持管理していくことは私たちに課せられた重大な使命です。そこで、平成2年より、全国109の一級、二級水系を対象に河川環境という観点から生物の生息状況や河川の利用状況に関する基礎集として「河川・水辺の国勢調査」を実施しております。

平成18年度からは、生物調査の方法を変えて、必要な時期に必要な調査を実施するように、調査マニュアルを改訂しております。調査結果については、年に一回記者発表を実施しております。また、水情報国土管理センターにおいて、情報を一元管理し、一般の

[水情報国土データ管理センター 河川環境データベース\[外部サイト\]](#)

◆水情報国土データ管理センターホームページ <https://www5.river.go.jp/>



河川環境データベース

河川水辺の国勢調査

全国の河川・ダム生物調査データを配信

鳥類	魚類	陸上昆虫類	動物プランクトン
			

両生類・爬虫類・哺乳類

底生動物

植物・環境基因

河川水辺の国勢調査は、河川では、「魚類調査」「底生動物調査」「植物調査」「鳥類調査」「両生類・爬虫類・哺乳類調査」「陸上昆虫類等調査」の6項目の生物調査と、植生図と瀬・淵や水際部の状況等、河川構造物を調査する「河川環境基因作成調査」、河川空間の利用者数などを調査する「河川空間利用実態調査」の計8項目の調査が行われています。ダム湖では、生物6項目の生物に加えて「動物プランクトン調査」を実施し、「ダム湖環境基因作成調査」「ダム湖利用実態調査」と合わせて計9項目の調査が行われています。

◆ データ(河川水辺の国勢調査)について

River Enviromental Database

[トップページ](#)
[サイトマップ](#)
[リンク](#)
[お問い合わせ](#)
[西暦](#)
[和暦](#)

河川環境データベースシステム

提供データの一覧とダウンロード

(地方毎に各種別の確認種の一覧データ(Excel)とGISデータ(シェイプ)をダウンロードします。)

河川水辺の国勢調査の各リンク

データ作成基準類	生物種目録	調査結果の概要
空間利用実態調査	文献一覧	